

展示室7

鳥づくし

2023年4月22日(土)～5月21日(日)

本展では、当館が所蔵する近代の作品から、鳥を主題とした作品の数々を紹介いたします。美しい羽を持ち、空を自由に舞い飛ぶ鳥の姿に人々は憧れ、時には吉祥の意味を見いだして、その姿を描き身近に飾ってきました。例えば、クジャクはその華やかさだけでなく高貴さ、権勢の象徴として好まれてきました。《孔雀》では2羽のクジャク、特に神秘的な白いクジャクが前面に描かれています。生き生きとした《群雀図》のスズメは、作者の石原紫雲が晩年によく描いたモチーフで、1羽1羽、違った動きや表情をしています。群れるスズメの図は百爵図ともいい、立身出世を表す吉祥図でもあります。また、切り花とともに横たわるキジに命の美しさと儚さをみせる《雉子》。作者の内海加寿子はこの作品を制作した翌年に33歳の若さで亡くなりましたが、彼女の命へのまなざしが伝わってくるようです。多彩な表現で描かれた、美術の世界に棲む鳥たちをおたのしみください。

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質・形状	寸法(縦×横cm)	備考
1	木村武山	孔雀	大正6(1917)年	絹本着色・軸装	151.5×70.4cm	土岐文英氏寄贈
2	速水御舟	つぐみ	昭和4(1929)年頃	紙本着色・額装	44.3×50.3cm	
3	速水御舟	ひたき	昭和6(1931)年頃	紙本着色・額装	44.5×47.8cm	
4	小茂田青樹	ひよこ	昭和時代	墨、鉛筆、紙・額装	26.6×38.1cm	田島健一氏寄贈
5	山口華楊	麓	昭和52(1977)年頃	紙本着色・額装	48.7×61.7cm	井田文夫氏遺贈
6	小室翠雲	三枝禮	昭和11(1936)年	紙本着色・軸装	116.0×145.0cm	
7	岸浪百艸居	雨呼ぶ鳥晴呼ぶ鳥	昭和10(1935)年	絹本着色・軸装	64.8×71.8cm	大沢ウメ氏寄贈
8	石原紫雲	群雀図	昭和50(1975)年	紙本墨画淡彩・軸装	137.1×68.8cm	石原成徑氏寄贈
9	石原紫雲	角鴟と雀図	昭和50(1975)年	紙本墨画淡彩・軸装	138.4×69.5cm	石原成徑氏寄贈
10	礒部草丘	花鳥図屏風	昭和10(1935)年	紙本着色・幀装 (六曲一隻屏風)	155.0×335.0cm	大森暢久氏寄贈
11	礒部草丘	緑陰遊禽図	昭和9(1934)年	絹本着色・軸装	130.1×41.0cm	大森暢久氏寄贈
12	礒部草丘	鴛鴦	昭和31(1956)年	絹本着色・軸装	42.4×50.7cm	大森暢久氏寄贈
13	福田元子	磯	昭和17(1942)年	絹本着色・額装	168.3×100.4cm	
14	成田一方	白夜	昭和時代	紙本着色・額装	227.0×181.1cm	成田ちか氏寄贈
15	高橋光輝	黄粧	昭和41(1966)年	紙本着色・額装	119.0×179.0cm	
16	内海加寿子	雉子	昭和26(1951)年	紙本着色・額装	75.0×53.6cm	内海芳子氏寄贈

*作品保護のため、会場内の温度、湿度、および照度を調整して展示しています。
また、都合により展示作品を変更する場合がございます。ご了承ください。

【次回予告】「四方田草炎の素描」5月23日(火)～6月18日(日)

精緻に描写した動植物や、霧積山中の炭小屋で生活しながら描いた風景などから、対象の本質へと迫る草炎の素描の魅力をご紹介します。

群馬県立近代美術館